

## 外部評価事業シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	NO	政策名	NO	基本施策名	NO	施策の展開方向
	3	誰もがすやかにいきいきと暮らせるまちづくり	3	高齢者福祉	④	生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加

事業名	金婚祝賀事業	担当課名	高齢介護課
-----	--------	------	-------

### 【事業の概要】

事業期間	開始年度	~	終了年度	会計区分	一般会計
事業(補助)対象	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(具体的な事業(補助)対象者) 市内在住の金婚(結婚50年)を迎えた夫婦		
法令根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り		(具体的な法令、条例名等)		
事業の執行方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 市民との協働 <input type="checkbox"/> その他		(委託先等)		
(事業背景・目的) 夫婦の長寿・健康保持を祝福するとともに、高齢者の生きがい、交流の場づくりを行い高齢者福祉の増進を図る。					
(事業の内容) 金婚を迎えた夫婦を招待し祝賀会を開催する。(祝賀会内容)食事会、アトラクション、記念写真撮影、金婚祝品の贈呈。					

### 【事業費】

項目/年度		H24(決算額)	H25(決算額)	H26(決算見込額)	H27(予算額)	備考	
事業費(千円)	事業費総額 ①	489	425	601	772		
	財源内訳(千円)	国庫支出金					
		府支出金					
		地方債					
		その他特定財源					
		受益者負担					
	一般財源	489	425	601	772		
人件費	正職員の年間延べ人数	0.17	0.13	0.13	0.13		
	嘱託・臨時職員の年間延べ人数						
	正職員年間延べ人数×単価	949	725	725	725		
	嘱託・臨時職員年間延べ人数×単価	0	0	0	0		
	人件費合計 ②	949	725	725	725		
総事業費(千円) ①+②		1,438	1,150	1,326	1,497		
平成26年度事業費内訳(単位:千円)		費目				金額	
		需用費				601	

**【事業の必要性】**

事業の必要性	夫婦の婚姻関係の永続を祝うとともに、高齢化の進展や社会の変化に伴い希薄化する敬老意識について啓発し、また自らの健康保持への意欲等を高める上で、高齢者福祉の増進に寄与するものである。
--------	--

**【事業実績・成果】**

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度実績値	27年度目標値
参加夫婦組数	組	43	38	50	55
祝品贈呈組数	組	44	41	52	55
(指標を設定できない理由)					
(具体的な事業の成果)					
夫婦の婚姻関係の永続を祝うとともに、自らの健康保持への意欲等を高める上で、高齢者福祉の増進を図ることができた。					

**【外部との連携・活用の可能性】**

外部との連携・活用の可能性	連携・活用先、連携・活用部分、不可能な理由を具体的に
<input type="radio"/> 既に事業全体・一部で連携・活用済	連携先: 泉大津市社会福祉協議会 内容: 社協職員が場内整理・駐車場整理等を担当。
<input type="checkbox"/> 今後事業の全部・一部で連携・活用可能	
<input type="checkbox"/> 連携・活用不可能	

**【庁内事業との統合、連携の可能性】**

類似事業の有無	<input type="checkbox"/> 類似事業あり	→	類似事務事業名			
	<input checked="" type="radio"/> 類似事業なし		統合・連携の可能性	可能性あり	可能性なし	

**【これまで実施した事務の見直し点】**

これまでの改善点	26年度は金婚式を単なる個人の祝賀行事に留めるのではなく、高齢者を大切にする心を育む、地域全体で敬老の心を育む取組みへと昇華を図るため、式典の演目に市立保育園児による演舞やボランティアによる祝賀演奏(三味線)を取り入れた。
----------	---

**【課題(問題点)】**

課題(問題点)	婚姻の形態が多様化する中で、市として祝意を表すのが公正性の観点から妥当かどうか検討していく必要がある。
---------	---

**【今後の方向性】**

担当課の評価	B 要改善	(左記評価の理由) 高齢化の進展、健康寿命等の延伸による長寿社会が想定される中、敬老意識についての再認識は極めて必要であるが、事業のあり方については、長寿祝品配布事業等、他の事業との整理・統合も含め検討する必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	金婚のつどいについては、市が主催して行うのではなく、地域に移行(地域の福祉団体による実施)していく方向や廃止も含め検討し、金婚の祝品について、長寿祝品配布事業との整理・統合等について検討する。	

**【参考】**

比較参考値(類団など他自治体での状況)	別紙のとおり
---------------------	--------